ポートフォリオ経営の実践

ポートフォリオ経営の実践は経営の根幹の一つです。厳選した成長投資の実行、ポートフォリオ・レビューの強化、並びにリサイクルの実行により、事業ポートフォリオの良質化を継続します。

投資の厳選・実行

仕組み

ハードルレート

- IRR 10%以上（前提：USDベース・税後）
- 投融資保証収益率
- リスクリターン比率

＋

戦略性・競争力

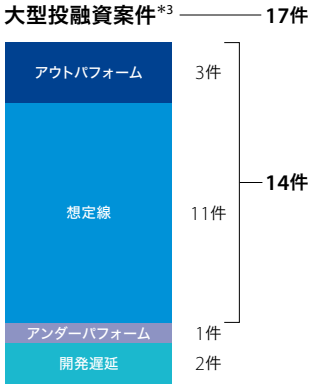
- 希少性
- Own Field
- 事業群戦略
- 収益貢献タイミング

会議体と1案件あたりの金額基準

・取締役会	600億円超
・経営会議	150億円以上
・投融資案件審議会	50億円超

実績

投資のトラックレコード

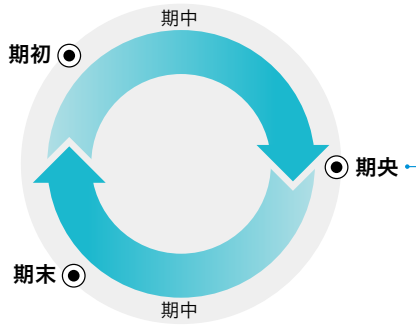


*3 中期経営計画2020、中期経営計画2023、中期経営計画2026に実行した投融資案件のうち、その金額が400億円を超え、東京証券取引所に対する適示開示（任意開示を含む）を実施した案件。個別案件の詳細は下記を参照。
https://www.mitsui.com/jp/ja/ir/meeting/investorday/2024/pdf/investorday2024_Presentation_CFO_ja.pdf#page=14

資産ポートフォリオ・レビュー / 資産リサイクル

資産ポートフォリオ管理の年間サイクル

- 前期Exit方針案件のフォローアップ
- 当期の資産ポートフォリオ・レビュー対応方針



- 資産ポートフォリオ・レビュー結果報告（保有方針の妥当性、Exitの実行性）

資産ポートフォリオ・レビュー

- 全投資案件の保有方針確認
- アラート基準の抵触案件の検証
- Exit方針資産の撤退実効性の確認
- 上場株式の保有意義の検証

対象 **1,784**件
簿価：10.1兆円*1

継続保有方針

全案件について、5つのレビューポイントを踏まえ保有方針を確認の上、経営会議及び取締役会に報告を実施

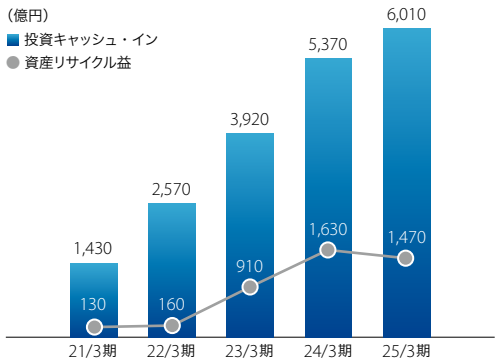
収益性	人材の有効活用	戦略性
一定規模の当期利益貢献	少ない人的リソースでの効率的な事業運営	事業群形成につながる案件

事業成長余地	当社価値貢献
事業価値ピークの見極め	今後の価値貢献の有無

Exit方針*2 約**3**割
簿価：約1割

*1 2024年3月期末ポジション
*2 Exit方針となった資産は、その具体的道筋や撤退難易度検証の対象となる

資産リサイクルの推移



主な資産リサイクル

資産リサイクル実行事例（リサイクル益） (億円)

2024年3月期
- Mitsui Rail Capital Europe +554
- 米国Kaikias油田 +132
- 高機能サプリメントThorne +101

2025年3月期
- インドネシアパイトン石炭火力 +447
- ブラジル複合一貫輸送事業VLI +321
- 物産フードサイエンス +173

上場株式の保有縮減

- 現中経期間中に37銘柄を売却
- 上場株式売却により現中経期間中に584億円の資金を獲得

上場株式保有銘柄数（単体）

21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期
130	127	114	101	81